

令和元年度 事務事業評価報告書

令和2年8月

総務産業常任委員会

西脇市観光協会補助金事務事業評価報告書

総務産業常任委員会

評価対象事業名	西脇市観光協会補助金（観光振興事業の一部）		
所管常任委員会	総務産業常任委員会	評価者	
基本政策	地域特性を生かした産業とにぎわいがあふれるまち		
政策	観光・交流を振興する		
施策	地域資源を生かした観光交流を進めます		

事業評価（５段階評価）

項目	評価	評価内容				
		理由（該当する項目を三段階で評価）				
		(○) 良好・すべき (△) どちらともいえない (×) 不良・すべきでない				
			○	△	×	
妥当性	5	ア) 社会情勢からみて実施すべきか	✓			
		イ) 一定の成果が上がっているか、引続き継続すべきか	✓			
		ウ) 行政で行うべきか（税金を使うべきか）	✓			
		エ) 他事業とサービスが重なっていないか	✓			
		オ) 他自治体と比べサービスの対象、内容が適切か		✓		
		カ) 市民全員のためになっているか	✓			
有効性	3	ア) 前年以前と比較し、事業効果は上がっているか	✓			
		イ) 事業目標が達成できているか	✓			
		ウ) 目標が達成可能な事業であるか	✓			
		エ) 目標が低く設定されていないか		✓		
		オ) 職員や外部からの人材活用が十分なされているか		✓		
		カ) 環境を保全する配慮がなされているか				
効率性	4	ア) コスト削減を考えたとき、実施方法は適切か	✓			
		イ) 提供するサービスの質を考えたとき、実施方法は適切か	✓			
		ウ) 地域、民間業者等に委託することが望ましくないか		✓		
		エ) 事業に投入された人員は適切か	✓			
		オ) 事業の合理化は図られているか	✓			
		カ) 受益者負担等は適切か		✓		

総合評価	4	(事業評価に対する特記事項及び今後の方向性の理由)
------	---	---------------------------

今後の方向性		拡充	評価指標	
※単年度事業以外はその理由を総合評価に対する特記事項に記載		現状のまま継続すべき	5	極めて高い
	✓	見直しのうえ継続すべき	4	高い
		事業単位を見直し (統廃合・縮小のうえ継続)	3	普通
		廃止	2	低い
			1	極めて低い

(事業概要)

別紙添付

(評価)

概ね高評価だが、委員からは補助金額が少ないのではないかと指摘もあった。北播各市の観光協会への補助金額（委託料含む）を調べてみると、

加東市 観光協会補助金 28,170 千円
加西市 観光事業委託料 34,165 千円
多可町 多可町観光交流協会補助金 3,000 千円
小野市 観光協会補助金 8,000 千円
三木市 観光協会事業（委託料） 14,700 千円

確かに、多可町と同額で、市の中では一番少ないことがわかる。

委員の一部には観光事業に税金を投入することを疑問視する声もあったが、概ね実施すべき事業であるとの意見であった。

また委員の中から、市の内部に設置するのではなく、他市にみられるように外部に設置すべきとの声もあったが、経費の増大も考えられるので、将来への検討事項とした。

今後の方向性については「**見直しのうえ継続すべき**」という評価にしたが、これは限りなく「拡充」に近い意味であることを付記する。

(各委員の意見)

林委員長

- ・住民割で各自治会から会費を徴収しているが、その割には観光協会が市民には見えていない。観光協会があつてよかつたと言われていたかというところではないだろう。市民にも見えにくい存在。
- ・観光協会が市役所の内部にあるので観光協会自体は市民に見えていない。市がやっているというイメージでしか捉えられていないのではないかと思う。だから、もっと観光協会はそのプレゼンスを大きく発揮してもらいたい。
- ・観光事業は非常に大事だが、市民には見えない部分も多い。市内にお金を落とすとしてくれる観光事業もあるし、交流人口や関係人口を生み出す切り口としての観光もある。いずれにせよ、商工観光課だけでなく、農林やまちづくり課、場合によっては医療ツーリズムとしての健康課や西脇病院との連携も必要になってくるかもしれない。もちろん、事業者や市民を巻き込んでのさらなる活性化を期待したい。

美土路副委員長

- ・補助金は年間 300万円、金額が抑えられていると思うので、今のやり方では妥当。この低額な予算で西脇独自の工夫をしながら今のところよく頑張っている。しかし、観光協会の問題は補助金額自体にあるのではなく、運営の仕方自体に問題があるのかなとも思う。また、これからの西脇市の観光という大きな視点で考えるべきとも思うので、補助金額の

増額等は運営方法を変える場合検討しないといけないと思う。

吉井委員

- ・いろいろな事業自体が被っているような気がする。例えば観光協会はこのものを主にやっているが、また一方では、例えば苺のパフレットをつくったけれど、ほかの事業でそのパンフレットを有効に使うとかいうようなことが余らないように思う。そういうもっと大きな観光振興事業を全体としての方向づけをしてやっていくほうが良い。サービスがどうも全体の市の方針として一貫していない気がする。
- ・多彩な事業が行われているが、近隣他市に比べ事業費が少額であり十分な活動が行えていない。結果、市民の認知度が低い。観光振興事業全体としての重点目標を定めて、それぞれの事業（団体）が、その役割を分担する取り組みが必要ではないか。

村岡委員

- ・他の自治体の補助金に比べて明らかに少なく、やりたいことができないのではないかとと思う。そのためPR活動に特化してしまっているような印象を持つ。
- ・補助金が少ないので補助金を上げるべき。そして民間委託も考慮に入れた上で見直しを検討すべき。

東野委員

- ・観光行政なり、観光協会の取組という形でいうと、まだまだ足りないものがたくさんあるが、西脇市の今の観光全体を見てどうなのかというところと一定やむを得ない側面があると思う。
- ・補助金 300 万円がどうかという観点でいえば、西脇市の現状を考えるとやむを得ない。さらに観光が活発に行われるように見直しが必要だろうと判断する。
- ・観光協会は、本来、民間の事業者により組織され、民間主導で運営され、その活動に市行政が補助するというスタイルをとるべきだと考える。ただ、西脇市の現状を考えると、やむを得ない側面もあると考える。将来的には、観光協会事務局は、市行政から外部に移行すべきだと考える。

岡崎委員

- ・パンフレットなどでPR活動することはいい事だと思うが、若者など注目してもらえるような旬の食材などの情報をホームページやチラシを使って発信してもいいかと思う。

中川委員

- ・税金を使って観光事業を行うことはどうかとも思う。
- ・主になって事業を展開できる組織が専門化しており、横の調整や住民（イベント参加者）との意思疎通が弱くなっている。役所内だけでも商工観光課、農林振興課、まちづくり課他、各課においてそれぞれに違った特産を抱えている、これらを総合して事業化していくのが観光協会の本来の仕事ではないか。

【令和元年度】

【収入】

年度		金額(円)	備考
補助金	西脇市	3,000,000	
	兵庫県	929,000	観光資源魅力アップ事業
	その他	219,804	鉄道利用促進協議会等補助金
委託料		0	
負担金		0	
会費	個人	243,000	1,000円×243
	個人事業主	144,000	3,000円×48
	法人	210,000	5,000円×42
	世帯	1,413,900	100円×14,139
事業収入		346,816	バスツアー、物品売上等
雑入		11,518	庁内販売等
繰越金		914,257	前年度繰越金
合計		7,432,295	

(参考)観光パンフレット類の発行

新規	にしわきごはん第4版(1.5万部)
新規	にしわきいちごづくし(1万部)
更新	日本のへそ(3千部)
増刷	播州ラーメン(3千部)
増刷	登山マップ(坂本城址、1千部)
増刷	のぼってみよう北はりま(5千部)

【支出】

項目		金額(円)	備考
事業費	資源創出・活用事業	1,343,174	・あじさい園整備事業 ・六所神社フジ再生事業 ・観光案内看板設置 (八幡神社・大津神社ほか)
	PR事業	3,411,262	・観光パンフレット類の発行 ・にしわきごはんスタンプラリー ・JRふれあいハイキング ・HP更新 ・雑誌等広告記事掲載 ・ほたるバスツアー受入事業 ・観光案内委託
	協賛・後援事業	996,491	・へその西脇・織物まつり協賛 ・黒田庄夏まつりの後援 ・子午線マラソン大会後援 ・西脇多可高校新人駅伝後援 ・地域活性化まつり後援 ・日本のへそハロウィーン後援
	広域連携事業	315,904	・定住自立圏周遊バスツアー ・神戸元町バル出展 ・旅行会社への合同訪問セールス
	会員対象事業	54,000	・個人会員特典購入費
	負担金	115,000	ひょうごツーリズム協会負担金
	会議費	65,753	総会・理事会開催経費
事務費	184,078	郵便料、振込手数料ほか	
その他	0		
合計	6,485,662		
収支差額(次年度繰越金)	946,633		